

旅行記



冬の味覚!カニをフルコースで味わう丹後半島の旅

平成30年2月6日(火)・7日(水)

県西支部 友成ゆかり (友成開発)

出発日は早朝より参加者の方から、前日の大雪によりバスが出るのかを心配して連絡をいただきましたので、バス会社に連絡を取り出発の確定を確認。折り返し電話をしたりと、慌ただしい一日の始まりでした。

私は脇町インターから乗車したのですが、雪中、バスを待つのは気の毒だとバス会社の配慮で、早くから脇町インターで待っていただきました。高速道路は積雪による速度規制があり、宅建協会駐車場には予定を大きく遅れて到着しました。一部の参加者も雪によるラッシュに巻き込まれ1時間程遅れてきた方もいました。

参加者からは所用及び雪を心配してのキャンセルが相次ぎ、結局22名での出発となり、大型バスの二人掛けの座席に一人でゆったり座ることができ快適なバス旅行となりました。

初日は、丹後の小京都と呼ばれる出石で昼食をとった後、予定をしていた出石散策、こうのとりの郷公園を中止。千年の伝統を持つ鞆の生産地である豊岡にある「かばんのタナカ」は是非、訪れたいとの参加者の要望で立ち寄りました。

予定を取り止めた分、雪での遅れを取り戻し、なおかつ早くホテルに着くことができました。温泉で心身ともにフレッシュした後は、いよいよお楽しみの夕食「蟹フルコース」。お刺身から始まり、焼き蟹、蟹雑炊と次から次へ、これでもかと、カニカニ、脇町では食べる事ができない。美味しかったなあ〜。

翌朝、雪が積もっていましたが、温泉に入り身体はぽかぽか。朝食を済ませホテルを出発。雪で危ぶまれた伊根湾めぐり遊覧船へ。舟屋が立ち並ぶ伊根湾を周遊。湾を取り囲むようにして建つ舟屋を海上から眺めるのは陸地からではなかなか味わえない風景と趣がありました。その後、日本三景天橋立を「天橋立傘松公園」から迫力の大パノラマで堪能しました。二日目は前日と打って変わって行程表のとおり順調に観光することができました。

帰路のバスの中は参加者と添乗員さんとの漫才で楽しいひと時を過ごすことができ、心配された雪の中での運転も、ベテランの運転手のおかげで快適に旅行を楽しむことができました。

